

会 議 録

会議名 (審議会等名)	平成 25 年度第 4 回小金井市廃棄物減量等推進審議会		
事務局 (担当課)	小金井市ごみ対策課		
開催日時	平成 26 年 1 月 29 日 (水) 午後 0 時 30 分から午後 3 時まで		
開催場所	中間処理場事務所棟研修室 1		
出席者	委員	<出席者：12 名> 大江会長・加藤委員・竹内委員・波多野委員・清水委員・多田岳人委員・佐野委員・鈴木委員・勝又委員・簗口委員・北澤委員・渡辺委員 <欠席者：2 名>	
	事務局	中谷環境部長・小野ごみ対策課長・藤田ごみ処理施設担当課長・石阪中間処理場担当課長・秋元ごみ対策課長補佐・井上・八方・佐藤・中村・吉田	
傍聴者の可否	可	傍聴者数	1
会議次第	1 開 会 第 3 回審議会会議録の確認について 2 議 題 (1) 報告事項 可燃ごみ処理の状況等について (2) 平成 26 年度一般廃棄物処理計画の策定について (審議) 3 その他		
会議結果	別紙審議経過のとおり		
提出資料	別添のとおり		
その他	次回開催予定 平成 26 年 2 月 20 日 (木) 中間処理場事務所棟研修室 1		

審議過程（主な発言等）

大江会長	では、第4回小金井市廃棄物減量等推進審議会を開催する。平成25年度第3回の会議録について意見・修正がなければ公開手続きを執るが宜しいか。
佐野委員	議事録の内容についてではないが、決まったのか決まっていないのか、よく分からないことがある。例えば、難再生紙事業を検討したが、どうなったのか議事録から読み取れない。もう議論は終わったのか、それとも今日は確認するだけだということか分からない。私自身は終わったものだと理解している。
大江会長	終わったわけではなく、平成26年度の一般廃棄物処理計画の審議の中で確認させて頂きたい。その他、前回の会議録について意見・修正がなければ公開手続きを執りたい。では、議題（1）報告事項 可燃ごみの処理状況について事務局から報告して頂きたい。
小野ごみ対策課長	(燃やすごみの処理量の昨年度との月別の比較について資料説明)
大江会長	これに関して意見はあるか。
佐野委員	家庭系のごみは変化がないと見るべきで、測定する時の誤差の範囲だと思う。ただ、事業系はどういう方法であろうが、燃やすごみが減ったという事実は事実だと評価すべきだ。平成23年、平成24年と比較して5%削減するという計画を立てたが、目標に届いていない。今年も今の時点では、5%削減目標に行かないだろうと見るのが妥当だと思う。社会的変動がどうだというのは、飽くまでも推測だ。
加藤委員	ごみ非常事態宣言以来、家庭系のごみについては減る傾向にあった。家庭系ごみは日割り計算で見ると減傾向にあるが、燃やすごみ量全体として今回増加傾向に転じたということは大きな変化だと思う。社会情勢が良くなっているためにごみが増えたということであれば、他市も増えている筈だ。しかし、国分寺市や日野市は減っているのだから、社会情勢とは言えないのではないか。人口は少し増えているが、これまでの施策では限界だということを示していると思う。来年度も今年度と全く同じ施策なので、この傾向は続く若しくはもっと増加に転じるのではないか。
大江会長	鋭い指摘だが、ここで議論するにはデータが足りない。
佐野委員	このデータでは、家庭系のごみが増えていると判断するのか、それとも変わっていないと判断するのか、減ったと判断するのか。
渡辺委員	昨年までは減少傾向にあったのが、ここで止まったわけだから、変化があったと認識しなければならないと思う。
大江会長	昨年と今年の数字の比較だけでは、ほぼ横ばいと読み取れる。過去のデータと比較をする等様々な観点から増えたかどうか事務局からデータを持って説明してもらいたいところだと思う。

審議過程（主な発言等）

加藤委員	<p>人口は、ここ10年程微増だがごみは減った。だから、人口が増えたから止まったということではないと思う。</p>
大江会長	<p>では、議題（2）平成26年度一般廃棄物処理計画策定についての審議に入る。これについてどこまで進んで、この先どのようなことをやっていくのか、事務局から説明して頂きたい。</p>
小野ごみ対策課長	<p>先程佐野委員より指摘があった平成26年度一般廃棄物処理計画の施策等については、私共としてもまだ議論は終わっていないと認識しているので、引き続き審議して頂きたい。</p> <p>では、第1回審議会で配布した平成26年度一般廃棄物処理計画（案）の7、8頁と平成26年度一般廃棄物処理計画ごみ減量達成に向けた施策移行表をご覧頂きたい。優先して取り組む施策と充実させて取り組む施策の中で、今回新たな施策として取り組むのはアの難再生紙とオのごみ減量かるたであり、その他については、概ね平成26年度も平成25年度の施策と同じである。優先して取り組む施策アの難再生紙事業については、燃やすごみに含まれる難再生紙を拠点回収し、廃棄物の適正な処理及び資源の有効活用を図っていく。優先して取り組む施策イのリユース食器の貸し出しについては、平成25年度から行われた新たな施策であり、平成25年12月現在の利用数は11団体で4,720枚利用して頂いている。優先して取り組む施策ウの不燃系ごみに含まれる使用済小型電子機器等に係る施策については、平成25年度に組成分析を実施している最中であるが、その組成分析結果を踏まえて、平成26年度以降、どのような形で使用済小型電子機器等を回収して資源化を図っていくかについてごみ対策課で検討していく予定であり、まだ具体的にどうするかという結論には至っていない。優先して取り組む施策エの子供向け減量キャラクターを使用した市内公立学校や子供会への環境教育、自治会やその他団体へ向けた啓発活動の充実については、くるカメ大作戦としてDVDやリーフレットを活用して日々啓発活動に取り組んでおり、学校等に出向いて講座を開いている。優先して取り組む施策オのごみ減量かるたを用いた啓発活動の実施については、現在ごみ減量かるた作成をしている最中であり、3Rを基本とした標語を中学生に書いてもらい、その標語に併せて、東京学芸大学と連携を取りながら絵札を作成して平成26年3月末までにかかる大会を実施できるように準備を進めているところだ。優先して取り組む施策カの水切りの重要性の周知・徹底と充実させて取り組む施策アからウの生ごみの減量に関しては、平成25年9月15日号の市報からイラストを活用して出来る限り分かり易く周知する工夫をしている。今後も3Rの中でも特に発生抑制（リデュース）に重点を置いて市報等を活用していきたい。</p>
大江会長	<p>それでは、平成26年度一般廃棄物処理計画の施策の内容や減量目標について審議したい。まずは、市の方ではどういうところに力を入れてやっていこうとしているのか、審議する上で参考となるので説明して頂きたい。</p>
小野ごみ対策課長	<p>これまでの間、ごみ減量・資源化の推進に当たって様々な施策を展開してきた。多くの方々にご理解・ご協力を頂いているが、小金井11万人超の市民の</p>

審議過程（主な発言等）

	<p>中で、毎年9,000人位の方々が転出入をしている。転入者に向けての施策が重要になってくると思う。今まで協力してくれた方々には引き続き協力してもらうことは余り難しいことではないと思うが、協力してもらえていない方々に啓発という形になるが、小金井市のごみ減量・資源化施策の一つでもご理解とご協力を頂きたいというところが主となっている。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>ウの不燃系ごみに含まれる使用済小型電子機器等の別途回収については、組成分析の途中ということだが、昨年も途中だった。近隣市はもうやっているのに、いつになったら結論が出るのか。</p> <p>生ごみ処理機の購入補助について、今どの位の申請状況になっているのか。それによっては、宣伝の仕方等も違ってくると思う。</p>
<p>佐野委員</p>	<p>小型電子機器なのか小型家電なのか。議論の中で両方使われているのではっきりさせた方が良くはないか。</p>
<p>大江会長</p>	<p>使用済小型電子機器等を、廃棄物の適正な処理と資源の有効な利用の確保を図るため回収しようということだ。</p>
<p>渡辺委員</p>	<p>どのように網を掛けるかによってかなり違ってくる。ある大きさ以下ということにすると集まってくるのはドライヤーとかトースター等ほとんど小型家電になる。</p>
<p>佐野委員</p>	<p>先日組成分析をしているところを見たが、実態はドライヤーとか炊飯器等小型家電の範疇に入るものがあつた。これをやる施策の基が何なのかを明確にしておくべきだ。</p>
<p>大江会長</p>	<p>私も小型電子機器等と聞いた時に小型家電も含んで良いと思った。国の施策の浸透がきちんとなされていないことから小型家電も集めて良いのかどうかについては、自治体によって変わってくるのではないか。</p>
<p>多田岳人委員</p>	<p>国が指定している96品目が分かれば解決するのではないか。</p>
<p>大江会長</p>	<p>自治体で取捨選択出来るので、小金井市としては、どの品目がどの程度出のかを組成分析した上で、どのような施策をするか判断したいが、なかなか進んでいないということだと思う。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>近隣市では既に品目を特定して実施しているので、そこを見れば大体の傾向が分かる筈だ。全く分からないというのは理解できない。昨年から続いているのにいつ実施するのか。</p>
<p>佐野委員</p>	<p>加藤委員は全体のスケジュールが分からないということだ。</p>
<p>大江会長</p>	<p>事務局から進捗状況を教えて頂きたい。</p>

審議過程（主な発言等）

<p>小野ごみ対策課長</p>	<p>法律名は、「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」である。略称は「小型家電リサイクル法」という。携帯電話や小型家電製品等がごみとして出された時にその中に含まれるレアメタル等をリサイクルしようという法律である。小型電子機器と言うと限られたものになるので「等」という言葉を付けている。電池や電気で動くもの、家電リサイクル法に定められているもの以外は全て対象となる。また、組成分析については、平成25年度に初めて予算化したので平成24年度は実施していない。平成25年度に6回組成分析を実施した。6回実施した理由は、季節によって出るものや量が違うからだ。1月末で全ての組成分析が終わる。その結果を基に96品目中、何を選択するか決めていきたい。また、どういう形で回収するのか、拠点回収か戸別回収か、今までも中間処理場で不燃系ごみの中から金属類をピックアップしていたのでその方法も出来るのか、ということも含めて検討したい。平成26年度中には何らかの形で回収に向けた施策に取り組んでいけると考えている。</p> <p>また、生ごみ処理機だが、平成26年1月20日現在で215件なので平成26年3月末までには昨年度の237件は超えると思う。</p>
<p>渡辺委員</p>	<p>現在小金井市が置かれている焼却施設がない非常事態ということから考えると、燃やすごみを減らすというのが第一優先で、不燃系の使用済小型電子機器等に関してはそんなに優先順位を高くする必要はないのではないかと感じる。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>目新しいものはアの難再生紙とオのごみ減量かるたぐらいしかなく、燃やすごみの大幅な減量にはすぐ結びつかないので、転入者に対して具体的な対策を立てるべきだと思う。転入手続きをする時に来庁者のコーナーがあるので、そこで丁寧な説明が必要ではないか。面と向かって説明することが一番重要なことだと思う。具体的な考えを持っているのかどうか伺いたい。</p>
<p>佐野委員</p>	<p>新しい施策についてから順番に検討してはいかがか。前回から審議している難再生紙について、まず審議した方が良いのではないか。</p>
<p>大江会長</p>	<p>加藤委員の転入者への行き届いた説明は効果につながるという意見については、施策のどこに係るのか。施策の中に入っていないということになると、啓発の強化ということで新たな施策として追加しても良いのではないかとこの意見だ。</p>
<p>清水委員</p>	<p>平成26年度一般廃棄物処理計画（案）の8頁を見ると、充実させて取り組む施策のケとして、集合住宅における資源物の徹底分別並びにごみ減量を図るため、持続的かつ有効な排出指導の在り方を検討するとともに、集合住宅所有者又は管理会社との連携強化に努めると書いてあるため、充実させて取り組む施策を優先して取り組む施策にランクアップするかどうかということではないか。転入者は集合住宅に来ることが多い。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>出入りの多い集合住宅の対策を立てれば、ごみの分別と減量が進むのではないか。是非とも優先して取り組んで頂きたい。</p>

審議過程（主な発言等）

大江会長	この提案に対して意見はあるか。充実させて取り組む施策ケの集合住宅については、優先して取り組む施策へ格上げしてはどうか。文言については、転入者等の表現も考えることとし、啓発活動を徹底していくということとしたいがいかがか。
佐野委員	優先して取り組む施策へ格上げすることによって、行政は何が変わるのか。
大江会長	それを具体的に検討しなければならない。そこで、新たにどんな活動をやらなければならないかについて意見を述べて頂きたい。例えば、子供向けのかるただけではなくて、転入者に対するきめ細かいアイデアを出すことも必要だ。
波多野委員	これまでも転入者に関しての意見は、例えばビデオを見せる等、毎回出ているのに、優先して取り組む施策に入っていないのは疑問だ。
鈴木委員	市職員全員が、転入者に対して市民目線の丁寧な説明が出来るぐらいにごみ問題に対して真剣に取り組んで頂きたい。また、市民のごみ減量意識をもっとレベルアップできるよう、例えば、小金井市内を幾つかの地区に分けターゲットを絞って、チラシを配布する等のキャンペーンをすると良いのではないか。
大江会長	転入者への窓口での対応は、転入してすぐに行くことなので大事だし、啓発活動の大きなチャンスだ。窓口での対応の現状を説明して頂いて、何もやっていないのであれば、アイデアを出していくのも大事だ。
佐野委員	市役所の機能としてワンストップで転入者に対するサービスができるようなことを作らないといけない。ここに書いてあるのは、お題目だけであって実行できるだけの行動様式がない。小金井市は市民参加だとか、市民協働とか言っているが、その中でどれだけ活動出来るのか、横の広がりがないと難しい。お金ばかり掛かって効果がない。
大江会長	平成26年度の一般廃棄物処理計画の中で、すぐにでも実施していくべき優先して取り組む施策や充実させて取り組む施策ということでこれまで検討してきた中で、どうするか基本ラインは出ているし、最低限これをやるというバックグラウンドは持っていると思う。さらに質問あればお伺いしたい。
勝又委員	生ごみ処理機の補助金制度だが、先日、1kg処理できる機器のチラシが配られてきた。現在、私が使っている処理機は500gなので便利だと思った。色々な条件があると思うが、1kg処理できる機器の使用を薦めた方が良いのかどうか。
加藤委員	ごみゼロ化推進会議では、市民の色々な疑問や要望があるので、家族の人数やその他の条件を考慮した機器を紹介する生ごみ処理機の手引きを作った。その小冊子をごみ対策課と共同で出して欲しいということで預けて1年経つがまだ検討中のようだ。ごみ非常事態宣言を出した頃は1,900台程度申請があったが、それから5年以上経ったので、今年は再申請出来るにも係らず申請

審議過程（主な発言等）

	<p>者数が300台に満たない。使っている市民の疑問に答えられるように手引きを作った方が良い。実際に使っている人が話をする必要があると思う。</p>
勝又委員	<p>チラシで1kg出来るというのは、本当なのか。</p>
加藤委員	<p>8割位のところで抑えないと難しいと思う。</p>
勝又委員	<p>1kg出来ると思って購入申請する人も沢山いるのではないかと。また、挫折する人もいる。使えないのでごみにする人もいる。</p>
加藤委員	<p>仕様書どおりに入れると駄目になるケースが多い。</p>
大江会長	<p>充実させて取り組む施策のAに生ごみ処理機購入費補助制度の記載があるが、具体的に展開していくきめ細かいところを出していかなければならない。</p>
佐野委員	<p>充実させて取り組む施策のAに関連して、生ごみ堆肥化事業の費用対効果はどうなっているのか。評価をする時期ではないか。入口論はあるが、出口論がない。</p>
渡辺委員	<p>どういう順番で優先していくのかということについては、費用対効果の高い施策を一番強力に進めていくのがあるべき姿だ。</p>
大江会長	<p>評価がなされていないので、明確にできないというのが現状ではないか。</p>
北澤委員	<p>生ごみをなくせば半分以下になるという状況なので、生ごみに的を絞って減量を図っていくのが一番だと思う。個人的には、生ごみ堆肥化事業というのは費用対効果の面からも限界にきているかと思う。お金が掛からないやり方としては、優先して取り組む施策のAにある水切りを徹底してやるのが一番重要だと思う。例えば簡単に出来る水切り容器を配布するとか、もっと具体的にやらないと減量につながらない。</p>
大江会長	<p>平成26年度の施策がどう体系づけられているのかというと平成25年度の繰り返しのようになっている。そこで、改めて事務局に優先して取り組む施策のAからカまで具体的な施策内容を簡単に説明して頂きたい。また、先程から議論されている充実させて取り組む施策ケの集合住宅や転入者への施策について具体的にこういうことをやるべきだと提案して頂きたい。</p>
渡辺委員	<p>生ごみがターゲットとしては一番大きくて、その次は紙だ。大抵の紙はリサイクル出来るが、出来ないのは何だと言ったらこの難再生紙だ。これが燃やすごみとして入っているので、その割合については組成分析の結果を見ないと何とも言えないが、現場での感覚として、次はこれがターゲットとなっているということだと思う。</p>
井上清掃係長	<p>難再生紙の資源化事業については、燃やすごみの減量が煮詰まってきた</p>

審議過程（主な発言等）

<p>大江会長</p>	<p>状況の中で、量としては余り見込めないが一定の燃やすごみの減量につながっていくということと、収集運搬処理費用に対して1kg辺り20円程度、難再生紙を資源化した方が下がっていく見込みがあるということを変更して報告させて頂く。</p> <p>その辺りを情報共有して整理して出せるところは出して欲しいということだと思う。私の記憶では、難再生紙については、これまでの審議会の中で実施していくということに決定したと認識している。収集運搬処理費用に対して安くなるということもあり、量は小さいが拠点で実施していくということまで整理はできているということに宜しいか。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>それで良いと思う。難再生紙の拠点回収については、具体的な話があったと思う。5%の減量というのは630tから640tだ。審議会の中での説明では60tなので、10%位になる。ただ、拠点回収ということになると相当意識の高い人が難再生紙を持っていくということだ。難再生紙だが、普通のざつがみも入ってもいいのか。</p>
<p>井上清掃係長</p>	<p>通常のざつがみであれば出来るだけ毎週古紙の日に出して頂きたい。拠点回収では、あくまでも難再生紙限定だが、普通のざつがみが入ってくることも想定している。</p>
<p>佐野委員</p>	<p>期間限定なのか。焼却場が出来たら、今の費用対効果は崩れるし、費用が高くなる可能性がある。</p>
<p>大江会長</p>	<p>小金井市は燃やすごみを減らしていかなければ高い費用を払わなければならないので、費用対効果に関連してはその先で検討することになると思う。その意味では期間限定か方法限定か取り敢えず始めてみて、上手くいくようであれば拡大するのか継続するのか見直し期間を作らないといけない。</p>
<p>佐野委員</p>	<p>行政の方にはスクラップアンドビルドの考えはないようなので、ずるずると行ってしまう</p>
<p>大江会長</p>	<p>メリハリをつけてやれば市民も協力し易い。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>ごみ非常事態宣言が続いている中で、新焼却処理施設は平成31年稼働予定なのでどんなに早くても後6年は広域支援をお願いしなければならない。その間は近隣市からの相当厳しい目があるので、若干費用が高くてもやむを得ないのではないか。一方で、もう一度色々な問題を見直す時期にはきている。ただ、費用対効果だけで施策を判断すると広域支援が行き詰まる可能性がある。</p>
<p>大江会長</p>	<p>難再生紙については、優先して取り組む施策とするということで、これで審議を終わりにする。では、優先して取り組む施策のIの施策内容について説明をお願いしたい。</p>

審議過程（主な発言等）

小野ごみ対策課長	優先して取り組む施策イのリユース食器の貸し出しについては、平成25年度と平成26年度の2年については無料で貸し出しを実施する予定である。その後、発生抑制という観点から、リユース食器について違う施策の方に方向転換をしていき、発生抑制につなげていきたい。違う方向というのは補助金制度に変えていくことを考えている。無料で貸し出すと2年間は市が全額を負担し貸し出すことによって、リユース食器の意味を理解してもらい期間と考えており3年目からは違う方向へ転換をしていきたいと考えている。平成26年度は無料期間なので出来るだけ多くの人に貸し出したい。
大江会長	その広報とか貸出先の対象者について説明頂きたい。
小野ごみ対策課長	広報については、市報や市ホームページを活用していく。また、貸出先の対象者については、発生抑制という観点からリユース食器を使いたいということであれば良く、町会等で行うイベント等では是非とも使用して頂きたい。
清水委員	使う側からすると汁物を入れる深めの皿等色々なタイプの食器が必要だ。使い易いものを揃えてもらいたい。
大江会長	そういう要望も踏まえてここを充実させて頂きたい。
佐野委員	ターゲットは家庭系と事業系のごみを減らすための施策か。
多田岳人委員	町会等のイベントは家庭系だ。
加藤委員	前回の審議会での資料にもあるとおり、10月の市民まつりでも、12月には私の町会でもリユース食器を使った。町会の場合は直接関係あるが、市民まつりは商工会の主催なので、小金井のごみ減量とは直接関係ない。ただ、ごみ減量啓発の波及効果はあると思う。
大江会長	町会等をターゲットとして実施することで、ごみ減量啓発の波及効果はあると思う。
佐野委員	そのとおりであるが、波及効果が浸透するような仕掛けをしないと、ただ使うだけでは弱いと思う。
多田岳人委員	町会長会議でアピールするとか回覧版に入れるとか、広報掲示板を利用するとか、出来るだけのことはやった方が良い。
加藤委員	リユース食器を使っているという昇り旗を作ってはどうかとごみ対策課に提案したことがある。
大江会長	優先して取り組む施策イについては、このようなアイデアが出たので受け止めて頂いてこの施策は優先して取り組むこととする。では、優先して取り組む施策ウの施策内容について説明をお願いしたい。

審議過程（主な発言等）

小野ごみ対策課長	1月末に組成分析結果が出るので、平成26年度中に使用済小型電子機器等をどういう形で回収するか具体的に検討していきたい。
佐野委員	実行するのか。
小野ごみ対策課長	実行出来るものは実行する。多くの市民の方々にご負担をお願いしなければならないものは時間が掛かるが、私共で出来るものはすぐに実行する。
大江会長	実行計画を立てるのは平成26年度いっぱい掛かるのか。どうするかという基本的な方針は早く出来るのではないか。
小野ごみ対策課長	方針については平成25年度中に出さなければならないと思っている。
大江会長	では、平成25年度中に分析結果を踏まえて方針を出して頂きたい。では、優先して取り組む施策エとオについて説明をお願いしたい。
小野ごみ対策課長	優先して取り組む施策エについては、平成25年度もごみ減量啓発キャラクターを使った啓発活動は行っているが、平成26年度も発生抑制を多くの市民の皆さんに理解して頂きたいので、出前講座等の回数は出来るだけ増やしていきたい。優先して取り組む施策オについては、現在ごみ減量かるたを作成しているの、かるた大会を平成25年度中に行いたい。これは、かるた大会を行うことが目的ではなく、かるたの標語を出来るだけ多くの人に知って頂きたいというところを目標にして、平成26年度もかるた大会を実施していきたい。前回の審議会の中での意見もあったとおり、学校等でも活用できる場があれば検討する。
大江会長	施策エとオは啓発活動であり、これについては優先して取り組んでいくということで整理することとする。では、優先して取り組む施策カの水切りに係る施策内容について説明をお願いしたい。
小野ごみ対策課長	水切りについては、月1回市内駅頭にてキャンペーンを行っている。また、ごみ減量・リサイクル特集号にも水切りについては、毎回掲載している。ごみになってから水を切ることに抵抗がある人もいるので、例えば野菜を切る前に洗わずに皮を剥いたりすることも周知している。水切りをすると重さが減るので各家庭の経済効果もあるし、夏場には臭いが出にくい等、私共も頭をひねって分かり易い方法を周知しているが、なかなか伝わらない。新たな水切りの関連グッズ等については、平成26年度の予算の中では考えていないが、出来るだけ啓発活動の中で効果が出るような形で行っていき、効果が出ない場合には別の施策を検討しなければならないと考えている。ただ、グッズを使えば必ず水切りをしてもらえるかと言うと必ずしもそうではないので、難しいがまずは啓発活動を充実させていきたいと考えている。
加藤委員	啓発活動は基礎的なことで重要だし、最近の市報は絵や写真があって分かり易くなっているという点では前進している。しかし、啓発には限界があるとも

審議過程（主な発言等）

	<p>感じている。2年半以上前に水切りのモニターを実施したが、前提がバラバラであったために結果もバラバラだったので、余り役に立たなかった。ある自治体では、ある地域やマンションをモデル地域として水切りグッズを与えてモニターをやってもらって、その結果を市民に発表している。そういう具体的な行動があって啓発活動とドッキングすることでかなり進むと思う。水切りは重要だとどの自治体も言っているが、啓発活動では限界があるというようなことも考えて頂きたい。</p>
鈴木委員	<p>出前講座というのは、勤務時間外では実施できないのか。働く人も多いので、夜7時から9時位までの間に来てもらえたら良いと思うのだが。</p>
小野ごみ対策課長	<p>要望を頂ければ、都合を付けられる範囲内で何う。</p>
大江会長	<p>水切りが出来ていないターゲットにし易いところがあれば、そこに向けた施策をやっていけば良いと思う。</p>
北澤委員	<p>やっていない人をどうやって巻き込んでいくのかが一番難しい。</p>
大江会長	<p>どの辺にそういう人がいるのか。</p>
渡辺委員	<p>集合住宅ではないところではないか。集合住宅には集合住宅向けのPRが必要で、それ以外のところでは水切りということになるのではないか。</p>
簗口委員	<p>前回は話したが、どうしても雨の日が気になる。雨が落ちてこない蓋つきのごみ箱を使って乾いたごみを出すことが基本だということを一言付け加えたり、土砂降りの日は蓋つきの容器がなければ出さないように言って欲しいと思う。</p>
佐野委員	<p>雨の日はごみ袋をひっくり返してくださいというのが簡単だ。そういうことが大切だと皆に知らせるのが重要だ。</p>
大江会長	<p>水切りはほとんどの人がやっていると思うのだが、やっていない方が少数ではないか。生ごみには水分が多いので、モニターをやってどんな効果があったのか。</p>
加藤委員	<p>幾つか焼却場を見たが、水がかなりパッカー車から出て来るので、皆が水切りをやっているとは思わない。全てのところから均一に水が出るかどうか分からないが、ある地域は水切りが悪いところがあるかも知れない。集合住宅が多いとか戸建住宅が多いとか地域によって違うと思う。水切りが悪い地域をモデル地域としてターゲットにしてやるべきだ。万便なく水切りが出来ていないのかどうか、事務局の説明を伺いたい。</p>
小野ごみ対策課長	<p>日々の状況を委託業者から情報を頂くことで、水切りが出来ていないであろう集合住宅等の状況は把握できる。また、袋を逆さまにすることについては、</p>

審議過程（主な発言等）

	<p>水切りが出来ていないと水が出てきてしまうので、敷地内が汚れたり臭いが出てしまうことを参考までに周知させて頂く。</p>
大江会長	<p>水切りをしてもそのものに水が残っているので、それを徹底できるのか。</p>
佐野委員	<p>本当に水切りがどれ程有効なのか。また、パッカー車に入れる時にゴミ袋は破れるのでどこまで袋に水が残っていて、どこまで車の中で出てしまうのか。</p>
大江会長	<p>例えばカレー等の残ったものは油分があって絞り切れないがそういうものを含んだ話なので、最低限のことをやった上で水が溜まっているのもっとやれと言われても限界がある。</p>
加藤委員	<p>水切りといっても、野菜等の含有水分は水切りしても出来ない。それは以前提案したように天日干しや風干しでなければ出来ない。土曜生ゴミ投入では本当に皆さんが良く水切りをして来るので、半分以下になっている。それは効果が大きい。生ゴミはそのまま入れるのではなくて、ビニール袋に入れて収集袋に入れているが、パッカー車では一回それを押し潰すので、そこで破れて水がトラックの下に溜まって、ピットに投入する時に水が出るということだと思う。本当は、生ゴミを分別して収集するのが一番ゴミ減量になると思う。</p>
佐野委員	<p>水切りでは減らない、乾燥しないと減らないということだ。</p>
鈴木委員	<p>年配者は水切りと言っても力がないので十分に絞れない。</p>
大江会長	<p>啓発は大事だが、これを具体的な施策方法に結びつけるには一工夫、乾燥を推奨したり、モニター箇所を増やしたり等、実感を伴うようなものが必要なのだろう。</p>
佐野委員	<p>そういう意味で優先して取り組む施策力の文章を簡単明瞭にした方が私は良いと思う。水切りによる相乗効果って何なのか。</p>
渡辺委員	<p>相乗効果とは、夏場に臭いが出にくい等のことではないか。出し方によって水分はかなり違ってくる。流しの三角コーナーに置いておけば、洗う度に水分が補充される。流しの中にある場合には、常に水が掛かっている。水が切れるところに生ゴミを置いておけばかなり違う。やり方によってかなり差が出るので、水切りについては、細かく言わないと難しいということがある。</p>
加藤委員	<p>水に濡らさないことが大事だ。</p>
大江会長	<p>やはり啓発が大切だということだ。啓発の関連で、転入者が来た場合、窓口でどうしているのか市から現状を説明して頂きたい。</p>
小野ごみ対策課長	<p>市民課では転入者が多い時期には手続きに30分程掛かる。市民課で待つ場合、番号を呼ばれるので、常に番号を気にしている。転入者かどうか分からない</p>

審議過程（主な発言等）

	<p>いということと、イライラしている状況の中で声は掛けにくいので慎重に対応しなければならない。転入手続きの後、国民健康保険等の手続きもあるので2階に行ったり、子供がいれば児童手当のために3階に行かなければならない。大方半日掛かりになるので、ごみのレクチャーに関しては慎重に対応しなければならない。そこで市民課の窓口の後ろにモニターを置いて転入者向けのくるカメ大作戦のDVDを流しているが、ほとんどの人は見ていない。そこで転入者にごみ・リサイクルカレンダーを市民課窓口にて手渡しするが、市が訴えたいことをチラシにして挟もうかと考えている。</p>
大江会長	<p>現在は、DVDを流しているのと、ごみ・リサイクルカレンダーを手渡ししているのか。</p>
小野ごみ対策課長	<p>市民課の職員が手渡ししているので、細かい分別の説明は出来ていない。</p>
波多野委員	<p>転入して来る人は何曜日に何のごみを出すのか程度しか考えていないのでごみについては後回しになるのではないかと。例えば、不動産屋や管理会社と連携を取って転入が決まった時に会って説明をしてきた方が早いのではないかと。</p>
小野ごみ対策課長	<p>小金井市は転入者の中でも学生が多いので、大学と連携を取ることを検討している。一般の転入者向けの対策については、非常に難しいところがあるので、具体的に何をすればいいか答えが出ていないので引き続き検討していくが、皆さんからヒントを頂きたい。</p>
多田岳人委員	<p>ごみ・リサイクルカレンダーに広告を募集して、その広告収入でDVDを作成して、転入者に渡すのはどうか。</p>
大江会長	<p>例えばどんなところが広告を出してくれるか。DVDを見たが、くるカメ大作戦は面白くて良いと思った。東町に留学生が住んでいるが、分別が分からないとか、覚えようとならないので、窓口や大学の寮等で最初に説明する機会があればかなり効果がある。周辺の大学ともタイアップして留学生やひとり暮らしの学生に対応すればかなり違うと思う。窓口で学生向けに分かり易い留学生向けの楽しいパンフレットを作っている大学もあると聞いている。小学生向けも良いが、もう少しターゲットを細分化して学生にやるだけでも随分違うのではないかと。一挙には出来ないかと、前半後半等に分けて取り組んではいかかか。</p>
簗口委員	<p>夫が単身赴任していた時に住んでいたアパートのエレベーターにごみの出し方について説明したものが貼ってあり、良いアイデアだと思った。皆さんが見る集合住宅の階段の踊り場やエレベーターを活用して啓発してはどうか。</p>
大江会長	<p>皆さんから様々なアイデアが出たので受け止めて頂いて、施策アからカについては、平成26年度に優先して取り組む施策ということで整理させて頂きたい。充実させて取り組む施策については具体策を整理してもらって、次回は平成26年度の一般廃棄物処理計画に関して完結することとしたい。</p>

審議過程（主な発言等）

小野ごみ対策課長	充実させて取り組む施策ケの集合住宅に関する施策については、転入者等の表現も考えた上で、優先して取り組む施策にするということで宜しいか。
大江会長	そのように理解しているが皆さんいかがか。
委員各位	(異議なし)
大江会長	次回の日程は、2月20日(木)か21日(金)ということで調整させて頂き、日程が決まり次第、事務局より連絡する。
	閉会